

みずほCustomer Desk Report 2016/06/24 号(As of 2016/06/23)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	104.79 AUD/USD
TKY 9:00AM	104.65	1.1327	118.50	0.9596	1.4795	0.7511
SYD-NY High	106.18	1.1422	120.97	0.9601	1.4948	0.7618
SYD-NY Low	104.04	1.1298	117.95	0.9522	1.4703	0.7504
NY 5:00 PM	106.14	1.1380	120.94	0.9590	1.4860	0.7618
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	11.715/12.42		△25RR	2.283	Yen Call Over	

NY DOW	18,011.07	230.24	債券市場	日本2年債	-0.2250	0.5bp
NASDAQ	4,910.04	76.72		日本10年債	-0.1400	▲0.2bp
S&P	2,113.32	27.87		米国2年債	0.7788	3.6bp
日経平均	16,238.35	172.63		米国5年債	1.2576	5.8bp
TOPIX	1,298.71	14.10		米国10年債	1.7458	6.1bp
シカゴ日経先物	16,590	565.00	為替市況	独10年債	0.0930	3.2bp
ロンドンFT	6,338.10	76.91		英10年債	1.3730	6.0bp
DAX	10,257.03	185.97		豪10年債	2.2500	2.9bp
ハンセン指数	20,868.34	73.22	商品市況	USD/CNH	6.5859	0.0039
上海総合	2,891.96	▲13.59		ドルインデックス	93.13	▲0.58
USDJPY 3M Vol	11.73	▲0.87%		CRB指数	193.524	1.72
USDJPY 6M Vol	11.44	▲0.65%		NY金	1,263.100	▲6.90
EURJPY 3M Vol	13.10	▲1.55%		WTI	50.110	0.98
EURJPY 6M Vol	12.49	▲0.94%		Dubai Spot	46.52	▲0.68

東京	東京時間早朝、新たに発表された英調査会社の世論調査で残留優勢が伝えられると、英ポンドが急上昇。こうした動きに伴い、ドル円も一時104.98まで上昇する展開となった。しかし105円手前では上値を抑えられる格好となると、104.60近辺まで押し戻され、104.65レベルで東京時間オープン。その後は英国民投票の結果待ちの雰囲気になり104.60近辺で揉み合い推移となった。しかしマーケットの流動性が薄く不安定な相場付きとなる中、東京時間引け間際にドル円は104.04まで急落、但しあくまで一時的な動きに留まり、すぐに104.40近辺まで値を戻すと104.36レベルで海外市場に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は104.36レベルでオープン。米金利が上昇を示す中、ドル円もつれ高となり、105.50レベルでNYに渡った。ユーロは1.1344レベルでオープン、英国民投票で残留派が勝利するとの観測から投資家のリスク回避の姿勢が和らぎ、欧州株と欧州金利が上昇。ユーロも1.1422まで買われ、1.1390レベルでNYに渡った。ポンドは1.4759レベルでオープン、ブックメーカーのオッズで残留確率が84%と伝わったことで、流動性が極めて乏しい中、1.4889まで急騰。その後発表された2つの世論調査でいずれも残留派が離脱派を上回ったことで1.4948まで一段高となり、1.4860レベルでNYに渡った。(ロンドン17:00 00531 444 179 山本)
ニューヨーク	英国民投票結果発表を控え、残留するとの思惑が強まったことから海外市場で105.86まで上昇したドル円は105.50レベルでNYオープン。朝方は米新規失業申請件数が市場予想比良好な数字となったことなども相俟って、ドル円は106.03まで上昇するが、同レベルでは一旦利益確定の売り意欲が相応に見られ、調整売りなどから105.49まで反落。なお、発表された米5月新築住宅販売件数は予想を下回る数字となった。午後は英国民投票結果発表を控え、狭いレンジ内での推移が続く、NY時間引け間際に発表されると言われている調査会社の出口調査の結果を控え、残留の思惑にじり高で推移。一時高値となる106.18を付け、106.14レベルでクロスした。一方、英国がEU残留するとの見方が強まったことから、海外市場で1.1422まで上昇したユーロは、1.1390レベルでNYオープン。朝方は狭いレンジ内での推移が続くが、調整と見られるドル買いに1.1340まで反落する。その後は英国民投票結果発表を控え、様子見ムードから閑散な取引が続くが、終盤に掛けてEU残留期待からユーロのショートカバーが強まり、1.1398まで上昇して1.1380レベルでクロスした。(NY 00531 113 682井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 田中・西谷

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
6月23日	8:50	日 対外・対内証券投資	-	-
	16:30	独 製造業/サービス業/総合PMI・速報値	6月 54.4/53.2/54.1	52.0/55.0/54.3
	17:00	欧 製造業/サービス業/総合PMI・速報値	6月 52.6/52.4/52.8	51.4/53.2/53.0
	21:30	米 新規失業保険申請件数	-	259K 270K
	22:45	米 マークイット製造業PMI・速報値	6月 51.4	50.9
	23:00	米 新築住宅販売件数	5月 551K	560K
-	-	英 EU離脱/残留を問う国民投票	-	-

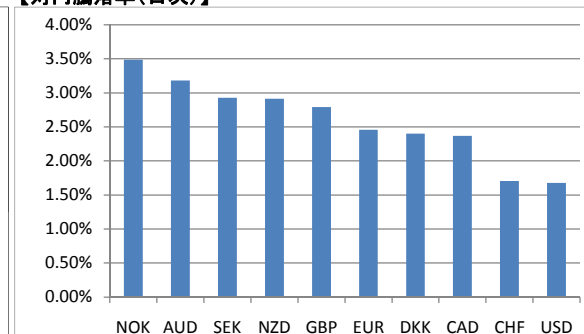
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
6月24日	8:00	米 カプラン・ダラス連銀総裁講演	-	-
	8:50	日 日銀金融政策決定会合「主な意見」公表	-	-
	15:36	日 中曽日銀副総裁講演	-	-
	17:00	独 IFO企業景況感/現況/期待指数	6月 107.4/114.0/101.2	107.7/114.2/101.6
	21:30	米 耐久財受注/除く輸送用機器(前月比)	5月 -0.5%/0.1%	3.4%/0.5%
	23:00	米 ミシガン大学消費者信頼感指数・確報値	-	94.1 94.3

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	99.50-108.50	1.0900-1.1600	109.00-124.50

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外市場のドル円は英国のユーロ残留を織り込みによく格好で106円台を回復した。朝方のヘッドラインで残留52%、離脱48%との速報調査結果が出たことで106円台後半まで上昇したが、非常に薄い流動性の中、荒い値動きが続いている状況。本日の東京時間中には残留または離脱が確定すると思われるが、それまでは薄い流動性の中、荒い値動きが継続するだろう。調査会社の調査通り残留が確定すればドル円は108円台乗せの可能性もある。一方で離脱となった場合、100円割れの可能性も否めない。拮抗する残留派と離脱派のどちらが勝利するか次第の相場となる。